



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED 1980



2021年 12月 No483

キム・サンチェ (韓国) 国際会長主題:「世界とともにワイズメン」
 大野 勉 (神戸ポート) アジア太平洋地域会長主題:「100年を超えて変革しよう」
 大久保知宏(宇都宮)東日本区理事主題:「私たちは次の世代のために何ができるか?」
 大澤和子 (所沢) 関東東部部長主題:「私の地域から世界に広げよう青少年を支える
 ワイズの輪・和・ワ!」

村杉一榮 東京北クラブ会長主題:「元気をだして 楽しく!」

会長;村杉一榮 副会長;磯部成文 書記;金 秀男 会計;磯部幸子 担当主事;小松康広

今月の聖句

マタイによる福音書 1:23

『見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』 小松康広

第597回 12月クリスマス例会プログラム

日時:2021年12月15日(水) 18:00~
 場所:日本基督教団浅草教会・KINUKAWA
 内容:第一部 礼拝 篠田真紀子牧師
 第二部 祝会
 ハッピーバースデー
 20日 金 秀男
 ウエディングアニバーサリー
 15日 有里公徳・八千代

11月例会報告 小松 康広

11月例会は、念願の齊藤寛さんをゲストスピーカーに迎えることができました。また、元東京北クラブメンバー・メネットの方々もご参加くださいました。

更に、関東東部部長の公式訪問ということで大澤部長(所沢クラブ)、青木さん(東京グリーンクラブ)もご参加い

ただきました。金さんの司会により、開会点鐘、ワイズソング、聖書箇所朗読、お祈りと進み、本当に久しぶりの会食の時となりました。赤坂「有職」のお弁当(茶巾寿司・ちまき寿司など)を美味しくいただきました。

ニコニコでは、今回、齊藤さんの卓話ということもあり、東京北クラブ40周年の中で、齊藤さんとの思い出のお話、懐かしい活動のお話で盛り上がりました。

大澤部長より部長方針として地域から世界へ「輪・輪・ワ」のお話をいただきました。

いよいよ、齊藤寛(東京北クラブチャーターメンバー・YMCA史学会理事)さんより「東京北ワイズメンズクラブが歩んだ40年」として、齊藤さん作成の年表、北クラブ第一号のブリテン、日本ワイズメン運動史IIなどの資料を基にお話をいただいた。11月10日はワイズデー(日本



11月在籍者	11月出席者	11月出席率	B F等ポイント	ニコニコボックス
会 員 7名	会 員 6名	50%	月分	11月分 20,000円
	広義会員 2名		切 手 0g	
	メネット 0名	メイクアップ 名	現 金 0円	本年度累計 28,000円
広義会員 5名	ビジター 2名		本年度累計	
合 計 12名	ゲスト 7名	月修正出席率	切 手 0g	
	合 計 17名	%	現 金 0円	

で最初のクラブ誕生を記念して制定された) から始まり、資料「仮東京北ワイズメンズクラブの設立総会のご案内」を元に、設立の成り立ち、経緯について伺った。

また、いまは混同されていることも多い「チャーター」と「チャーターナイト」の区別もお話しくくださった。東京北クラブは、東京YMCA100周年という、とても大切な時に生まれた。CS活動の「YMCA コンサートすごい仲間たち」、日本ワイズメン運動史IIの中には〈全国コンクールで頭角を現した少年少女音楽家が一流のソリストとなる日を彷彿とさせている〉と記されているが、その通りにその後、世界で大活躍をされた方の初々しい面影を懐かしく語られた、初期の東京北クラブは、なんと教養のある充実した活動をしていた！とニヤリと励ましをいただいたりしながら、あっという間に時間が過ぎていきました。YS、社会情勢、自分自身、様々な時を重ねて40年がある。今日持参した年表の白紙部分に“あなた自身のあゆみ”を書き入れてみてください、と締めくくられた。

村杉、磯部成文・幸子、金、神谷、有里、羽田、小松大澤和子関東東部部長(所沢)、青木方枝(東京グリーン)ゲスト(齊藤寛、川口修一郎、小柳善嗣・美登里、倉持康而、田中重和・靖子)

・ ** 興望館便り **** 萱村 竜馬さん

こうぼうかんだより

興望館ではコロナ禍も変わらず日々子ども達に寄り添い、子どもの成長、巣立っていく青少年を支える働きを重ねています。お食事友の会、キャンプ事業は再始動の時を待っています。100周年を機に、未来の展望を描いた矢先にコロナに見舞われましたが、改めて「興望館とは」を考える機会としました。今年の興望館デイは形を変え、ミニバザースタイルで父母の会や保護者OB・OGのみなさんが手作りおやつや小学生の書いた絵をクリスマスカードにするなど、今ならではの活動で盛り上げてくれています。

++ 清泉YMCA便り++++ 阿部 萌香さん

清泉YMCAでは今年度25名の新入生が入部し、計30名で活動しています。今年度は代々木公園での炊き出し活動やゴミ拾い、映画鑑賞会などを実施し親睦を深めました。また、12月には朝鮮大学の学生との交流会が開催され、在日朝鮮人についての理解を深めるきっかけになりました。これを機に朝鮮大学との交流会を定期行事にしようと計画中です。

YyYyYyYyYyYyYMCAニュース yYyYyYyYyYyY

1. 11月11日、東京YMCA、在日本韓国YMCA、東京YWCAの共催による「YMCA/YWCA合同祈禱週礼拝」が、東京YWCAカフマンホール及びオンラインで開催され、75名が出席した。渡辺俊彦氏(上馬キリスト教会牧師・東京YMCA医療福祉専門学校講師)に「失って得るもの」と題して説教をいただき、祈りの時を持った。席上献金は、チャイルド・ファンド・ジャパンの働きのために献げられた。
2. 11月13日、会員部主催の「ソシアス2021」(会員協議会)が東陽町センター及びオンラインで開催され、会員、職員合わせて50名が参加した。「YMCAの会員活動の活性化に向けて」をテーマに、上田晶平氏(会員部運営委員長)と中里敦氏(会員部統括)の発題を受けて、7グループに分かれて意見交換を行った。
3. 11月23日、「東日本地区YMCA役員研修会」がオンラインで開催され、東日本地区を中心に16のYMCAから役員・委員・職員等合わせて115人(東京YMCAからは18人)が参加した。「YMCAにおける公民連携事業について」をテーマに、中林貴紀氏(茨城YMCA理事)と波多啓造氏(東京YMCAアフタースクール・公民連携事業統括)から発題があり、その後分団協議を行った。
4. 全国23のYMCAは、「Amazonみんなでサンタクロースプログラム」(Amazonの企画による「ほしいものリスト」を活用したクリスマスチャリティーキャンペーン)に参画している。東京YMCAは、子ども食堂「下町こどもダイニング」や、日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちへのクリスマスプレゼント(お菓子や文具)のご支援を、キャンペーンサイト上でアピールしている。
5. 今後の主な行事日程
 - ★「第16回子育て講演会」 1月29日(オンライン配信)
講師：汐見稔幸氏(東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長、日本保育学会理事)
テーマ：「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」
 - ★「YMCAピンクシャツデー2022」 2月23日
(いじめ反対キャンペーン)

どうぞよいクリスマス&新年をお迎えください
(小松康広担当主事)